

議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒 894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



議会報告会（語る会）勝浦会場

議会報告会

（議員と語る会）

令和 4 年 4 月 17 日午前
に与路会場と請阿室会場、午
後に瀬相会場と諸数会場で
24 日午前には西古見会場と蘇
刈会場、午後に油井会場と
勝浦会場、古仁屋会場に於
いて、議会報告会（議員と
語る会）を開催しましたと
ころ、多数の町民に出席い
ただきまして、令和 3 年度
における総務経済常任委員
会と文教厚生常任委員会の
活動報告をさせていただきました。
ました。

質疑応答では、各会場で
多数のご意見をいただきま
した。このご意見につきま
しては、今後、当局との協
議後に報告させていただきます。
ます。

今回、古仁屋会場の来場
者数が少なく、広報周知に
ついて検討したいと思いま
す。

こんなことを決めました！

第1回定例会

3月2日～14日

第1回(3月)定例会では、予算議案22件、条例議案10件、その他議案6件の計38件の議案を審議し、それぞれ可決しました。令和4年度各会計予算議案11件については、議長を除く9名で構成する予算審査特別委員会(委員長 池田 啓一, 副委員長 元井 直志)を設置し審査を行った結果、原案のとおり可決し、最終日に委員長から報告がなされました。主な議案の要旨は次のとおりです。

補正予算

●令和3年度一般会計補正予算(第9号)
 主な要因は、農業創出緊急支援事業、防災無線施設費を追加したことによるものです。

金として入学金及び授業料の一部を給付するものです。

●瀬戸内町議会の議員及び長の選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の制定

●令和4年度一般会計当初予算
 総額は、95億5652万2千円で前年度と比較して9億8085万円の増です。
 主な要因は、教育費の給食センター代替事業と消防費の防災施設費に伴うものです。

条例の制定等

●古仁屋高等学校給付型奨学金基金条例の制定
 本条例は、令和4年4月1日より、鹿児島県立古仁屋高等学校から国立大学及び難関私立大学に合格した生徒に対し、給付型奨学

本条例は、公職選挙法の一部を改正する法律が、令和2年12月12日に施行され、町村議会議員選挙及び町村長選挙に係る一部の事項が条例による選挙公営の対象拡大となったことを受け、瀬戸内町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例を制定するものです。

●瀬戸内町消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務に関する条例の一部改正

本条例は、令和3年4月に総務省消防庁が発出した「消防団員の報酬等の基準」を踏まえ、消防団員の年額報酬額、出勤手当額と支

給方法を改正し、処遇の改善を推進するものと、公務災害補償、退職報酬金について明記するものです。

人権擁護委員の推薦

●人権擁護委員の推薦

本議案は、人権擁護委員の山倉馨氏が、令和4年6月30日で任期満了することに伴い、引き続き人権擁護委員候補者として、法務大臣宛推薦することについて、人権擁護委員法第6条第3項により、議会の意見を求めるものです。

任期満了となる、山倉馨氏の推薦に対し、適任と採決しました。

人権擁護委員に

山倉 馨 氏 再任

令和4年第1回瀬戸内町議会定例会（3月2日～3月14日）議案・議決結果

議案番号	件名	議決結果
1	令和3年度瀬戸内町一般会計補正予算（第7号）の専決処分事項の承認について	承認
2	令和3年度瀬戸内町一般会計補正予算（第8号）の専決処分事項の承認について	承認
3	令和3年度瀬戸内町一般会計補正予算（第9号）について	原案可決
4	令和3年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
5	令和3年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
6	令和3年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
7	令和3年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
8	令和3年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
9	令和3年度瀬戸内町古仁屋港上屋事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
10	令和3年度瀬戸内町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
11	令和3年度瀬戸内町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
12	令和3年度瀬戸内町水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決
13	令和4年度瀬戸内町一般会計予算について	原案可決
14	令和4年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計予算について	原案可決
15	令和4年度瀬戸内町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
16	令和4年度瀬戸内町介護保険特別会計予算について	原案可決
17	令和4年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計予算について	原案可決
18	令和4年度瀬戸内町屠畜場事業特別会計予算について	原案可決
19	令和4年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計予算について	原案可決
20	令和4年度瀬戸内町古仁屋港上屋事業特別会計予算について	原案可決
21	令和4年度瀬戸内町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
22	令和4年度瀬戸内町簡易水道事業特別会計予算について	原案可決
23	令和4年度瀬戸内町水道事業会計予算について	原案可決
24	職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
25	町長等の給与等に関する条例等の一部改正について	原案可決
27	古仁屋高等学校給付型奨学金基金条例の制定について	原案可決
28	瀬戸内町企業版ふるさと納税基金条例の制定について	原案可決
29	瀬戸内町衛生センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
30	瀬戸内町議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の制定について	原案可決
31	瀬戸内町名誉町民「瀬田良市」大学入学一時金貸付基金条例の一部改正について	原案可決
32	瀬戸内町名誉町民「瀬田良市」教育振興人材育成基金条例を廃止する条例について	原案可決
33	瀬戸内町消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務に関する条例の一部改正について	原案可決
34	瀬戸内町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について	可決
35	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
36	令和3年度瀬戸内町一般会計補正予算（第10号）について	原案可決
37	瀬戸内町すこやか福祉センターHUB設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
38	請阿室自然体験宿泊施設改修に伴う補償額の和解について	可決

意見の分かれた審議議案・議員の賛否

賛成 ○ 反対 ×
議長は採決に加わりません ー

議員名	泰山祐一議員	福田鶴代議員	永井しずの議員	柳谷昌臣議員	元井直志議員	池田啓一議員	向野忍議員	中村義隆議員	岡田弘通議員	安和弘議員
表決	×	×	○	○	○	○	ー	○	○	○

古仁屋高等学校給付型
奨学金基金条例の制定

反対討論

福田 町長の思いは十分理解した。古仁屋高校の存続を考える一人として給付金よりも島の特徴を活かした農業科、環境科などの科目を増やすか部活でダイビング、シーカヤック、ヨットなど少数でも出来る魅力ある学校づくりをすぐにでも検討して欲しい。

賛成討論

永井 古高会に参加した際、古仁屋高校の校長から、「この条例が出来ることは非常に喜ばしい。今年は国公立に5名合格しているので、励みになる」と言われた。中学生にとって進学校を決める選択肢の一つになるのは間違いないと思う。

反対討論

泰山 地域の方々は古仁

屋高校に対してどのような思っているのか、新たな給付型奨学金を設立する事によってどのように感じているのか、役場職員が一人の親として給付金が出る事によって自分の子どもを古仁屋高校に行かせたいと思うほどの優先順位の高い制度なのか、私自身疑問だ。58名からアンケートをとった結果、子どもがどこに進学したいのか、子どもの希望を応援したいとの声があった。この制度があるからといって古仁屋高校を希望するわけではなく、特色ある古仁屋高校を作り上げる予算に投資して欲しい。

賛成討論

岡田 平成21年12月から古仁屋高校の存続が危ういという事で、議員全員で「活力あるまちづくり調査委員会」を設置し古仁屋高校をどうしたら活性化できるのか考え、先

例地視察など行った。あの高校では、「取り組むのが遅かった。県の教育委員会が認めなかった」という事例があり、早めに動いて何とかしたいと思った。県の教育委員会に、歴史ある水産科の設置をお願いしたが、遠洋漁業の船員のなりて不足など現状では難しいとの回答だった。給付型奨学金が出来たらといって、すぐに希望者が増えるということとは難しいと思うが、魅力ある古仁屋高校の一環として選択肢の一つとして打ち出したものと思う。今後も町として県にも要求しながら、古仁屋高校を存続、活性化させるため、更に新たな施策を打ち出して欲しい。

まちの未来が見える

議会傍聴においでください

次回の定例会は6月上旬です

インターネットで生中継。瀬戸内ケーブルテレビの録画放送でもご覧いただけます

令和4年度予算審査意見（9項目）

1. ふるさと応援基金寄附金の増額確保体制の充実と、特産品の掘り起こし及び魅力ある企画商品等の開発並びに、委託先公募も含めて幅広い視野で対策に鋭意努力されたい。
2. 各種事業の進め方に関しては、費用対効果を考慮し丁寧な情報発信を図ると共に官民の連携を図ったうえで、関係者及び関係機関としっかり協議されたい。
3. 世界に誇れる「海洋のまち“せとうち”みらいプロジェクト」の基本構想については、「国・県・町」「産・学」の連携による持続可能なまちづくりのグランドデザインを策定されたい。
4. 「ゼロカーボンシティ宣言」のまちづくりに向けた様々な計画策定を行うにあたり、各課・官民の連携を図りながら、町民の希望の計画となるよう努めていただきたい。
5. 再エネ活用西古見創生事業においては、持続可能な事業となるよう努めていただきたい。
6. 加計呂麻島ターミナル施設については、加計呂麻島での住民説明会の意見やパブリックコメントの意見を広く取り入れ、住民や観光客に必要とされる拠点を目指していただきたい。
7. 年間を通して、道路及び河川の伐採業務が行きわたるよう取り組んでいただきたい。
8. 不登校児童生徒の支援について、拠点施設の整備を図っていただきたい。
9. へき地診療所の入院医療体制を早期に図り、医療充実に向けて、特段の努力をされたい。



予算特別審査特別委員会
新年度予算について質疑する委員



予算特別審査特別委員会
委員の質疑に回答する当局職員

6 人の議員が一般質問

定例会第2日目、3日目に一般質問が行われ、
6人の議員が町政について質問しました。
通告順（発言順）に掲載します。



私はここが聞きたい！
町政を問う

7 p	永井 しずの 議員 ●町当局の防災意識 ●西方地区の活性化 ●古仁屋高校の活性化 他
8 p	柳谷 昌臣 議員 ●移住者の受入れの体制づくり ●防災体制 ●脱炭素社会の構築
9 p	安 和弘 議員 ●有事における国と自治体の役割は？ ●コロナ蔓延時の町の取り組み ●フェリーのドック可能な造船所
10 p	泰山 祐一 議員 ●行政サービス ●町有地の無人島活用 ●海洋の町「せとうち」みらいプロジェクト 他
11 p	福田 鶴代 議員 ●ひかり幼稚園の進捗 ●男女共同参画 ●地域医療連携推進法人アンマ
12 p	元井 直志 議員 ●水対策 ●林業振興 ●信愛幼稚園の活用 他

一般質問とは

一般質問とは、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

また、質問に対する答弁書が作成され一般質問の後、それぞれの議員へ配布されます。

質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

ただし、一般質問に対する関連質問は、許可されていません。

町の防災

永井議員 — 町当局の防災意識は？

町長 — 住民の防災に対する意識付けを強めたい！

永井 想定外であった「津波警報発令」は、誰もが初めての経験であり、課題もいろいろと見えて来たと思われ、が、当局の防災意識はどうか伺いたい。

町長 課題としては、避難先でのトイレの問題、車両の渋滞、住民への情報伝達、住民の防災に対する意識付けである。対応策として、組立式簡易トイレと組立式テントを、各

集落へ配備する予定である。渋滞対策としては、早い段階での古仁屋小学校及び古仁屋中学校グラウンドの開放や瀬戸内警察署と連携のもと、渋滞区間への交通誘導員等の配置を行い、渋滞の緩和を図っていきたいと考えている。

西方地区の活性化

永井 久慈小中学校や

西方の廃校後の利用方法について、伺いたい。

町長 旧久慈小中学校の廃校利用については、地域団体から農水省へ申請された「令和3年度農山漁村振興交付金事業」のソフト事業を活用して、今後の利用方法について検討を進めているところである。

泊、体験、食のコンセプトを念頭におき、令和4年度から令和5年度にかけて、総務省の「過疎地域持続的発展支援事業」など有利な補助金等を活用しながら、必要なハード整備を実施していく予定である。

他の学校の廃校利用については、令和4年度において、西古見小中学校跡地に再エネを活用したオートキャンプ場としての利用を計画している。

古仁屋高校の活性化

永井 古仁屋高校生に對しての「給付型奨学金制度」について、その内容を伺いたい。

町長 古仁屋高校の活性化については、これまで古仁屋高校活性化対策室において、地域みらい留学生の確保、古仁屋高校寮の改修及び建設、プログラムミング教室の導入、古仁屋



議員 永井 しずの



活用が待たれる旧久慈小中学校

加計呂麻ターミナル施設

永井 現在の進捗状況と今後の計画を伺いたい。

町長 建設予定地の地質調査を行い、基本設計（案）を作成し、2月上旬に、加計呂麻・請・与路全集落の区長等に対し事前説明を行い、その後、加計呂麻地区を対象とした住民説明会を開催した。今後は住民の意見を踏まえながら、可能な範囲で施設整備などに反映していく予定である。

清水地区スポーツ村整備基本構想

永井 助産師、看護師の学校を卒業し町内の病院へ勤務した時に返済免除にする制度は出来ないか。

企画課長 その件は、保健福祉課において検討中である。

永井 この事業の今後の計画を伺いたい。

町長 令和5年度に内部改修工事、その次に子ども広場、その次にスポーツ広場を年次的に改修・整備をしていく計画である。

高校コーディネーターの配置等、諸活性化策を実施してきたが、入学者数は年々減少傾向にあり、今年度の入学希望者は20名となっており、さらなる活性化策を講じる必要があると思う。その活性化策の一つとして、町内の中学校卒業生で古仁屋高校を卒業した生徒に對し、国公立大学、難関私立大学の修業年限期間内において入学金

町長

柳谷議員 — 移住者の受入れ体制づくりの対策は？

町長 — 各集落の「ローカル・ルール」の作成援助を

柳谷 今後、観光客など本町を訪れる方や移住者の受け入れ体制づくりが重要になってくると思うが、どのようなお考えか伺いたい。

町長 移住者の受け入れに態勢づくりについては、これまで実施してきた本町の定住促進施策の空き家活用補助金、住宅リフォーム助成金、出産祝金、小学校入学祝金、古仁屋高校入学祝金、Ｕターン者への資格取得助成、結婚祝い金食事券給付事業、結婚新生活支援事業、移住体験住宅の設置等を今後も引き続き継続し移住者の住みよい環境整備に努めていきたい。また今年度から空き家バンク運営等の民間委託を実施し、空家不足対策に対処していきたいと考えている。

柳谷 各集落ごとに「ローカル・ルール」

を設定する事が大事になると思うが、どうお考えか？

町長 「ローカル・ルール」に関しては大変重要だと思う。大和村の国直集落においては集

落内に看板を設置して周知していると新聞で紹介された。町としては、集落ごとに「ローカル・ルール」を決めてもらう事が大事になってくるので、様々な法律等の問題を含めて検討した中で「ローカル・ルール」を決めていただければ町としても可能な限り支援していきたい。そうする

事によって実のある移住政策となる事につながると思う。



柳谷 昌臣 議員

が

柳谷 集落ごとで

「ローカル・ルール」を決めてもらうという事だが、自分達だけでは前に進まないという

事もあるので、そちらの方も協力して頂きたいと思う。

防災体制

柳谷 先日の津波警報の際には多くの町民が想定外のことになったが、今後の津波を踏まえた防災対策について伺いたい。

町長 町内の防災関係機関・団体の実務担当

者の皆様を対象に「津波警報事後検証会」を開催した。今後は、本検証会で提言された様々な課題等について、関係機関と連携を図りながら防災対策を推進していきたいと考えている。

柳谷 町内で年一回、場所を変えて防災訓練が行われているが、各集落ごとに同じような訓練をする事が大事だ

と思うが、いかがか？

総務課長

各集落に関しては、毎年11月全国一斉にＪアラートの試験放送を行う。それに合わせて町内全集落に避難訓練を実施していただきたいと伝えてい

る。又、各集落に自主防災組織というものが

あるので強化していただきたいと考えている。

町長 まずは自助で家族間で話し合いをし、共助として地域の中で体制を整えていく事が大事になると思う。その上で行政としてもしっかりと後押しをしていきたいと思う。そして組織だけでなく、防災リーダーの育成にも努めていきたいと考えている。

脱炭素社会の構築

柳谷 脱炭素社会構築に向けた本町の取り組みについて伺いたい。

町長 本町で海草藻場育成事業の実施によるブルーカーボン、海洋観光産業等、海に関する事業を推進する。今年度西古見小中学校跡地に再エネを活用したオートキャンプ場を建設し、海洋観光産業、再エネ利活用、過疎集落活性化、防災対応の連動の実証を行いたい。



国直集落のローカル・ルール

有事の役割

安議員 — 有事に於ける国と自治体の役割は？

町長 — 有事に備え瀬戸内町国民保護計画を策定

安 我が国を取り巻く近隣諸国との外交関係は決して良好なものとは言えない。基地を抱える奄美にとって、有事の事態の対応も考えておかねばならない。「仮想敵国」と見られる「北朝鮮」「中国」は人道上前、問題の多い国であるが故に、予め心づもりが必要と思うが、考えを伺いたい。

町長 我が国を取り巻く国際情勢は、不安定で先行きは不透明な状況であると考えている。国の平和と国民の安全を確保するためには、国際協調に基づく外交・安全保障政策などにより、我が国への脅威を未然に防ぐことが何より重要であると思っている。それでもなお我が国の平和と安全を脅かす事態が発生した場合に備えて「瀬戸内町国民保護計画」



安 和弘 議員

を平成19年3月に策定しているが、今後、県の計画に基づいた、計画の見直し等を検討していきたいと考えている。

安 へき地診療所の役割はどうであったのか伺いたい。

町長 へき地診療所では、診療・検査医療機関として指定を受けており、発熱外来を実施している。医師不足のため、入院受入れ等は行っていない。

安 住民は体調不良の時、まず頼りにするのは、医療機関、病院である。こういう緊急事態では尚更のこと。一日も早い医師の確保を急ぎ、従来の診療体制を整えていただきたい。(一年間も現状が続いている)

フェリーのドック可能な造船所

安 フェリー加計呂麻クラスの船がドック入りできるような造船場がこの町にはない。諸々の規約の関係上のこととは思いますが、何故できないのか、そう思っている住民が少なくない。行政の支援等で、この問題をクリアできないものか。又、

フェリー加計呂麻がドック入りの為に要する日数、金額(費用)はどれ程なのかを伺いたい。

町長 現在、町宮船の定期ドックは、鹿児島にて整備を行っている。古仁屋の整備ドック場では、上架する為の設備投資が必要であり、設備改修を行っても、せとなみは上架できるが、フェリーについては無理という事であった。さらに、資格保有者や人員不足もあり町宮船の整備ドック受注は、困難であるとのことだった。

令和3年度のフェリーかけろまの検査ドックは、5月25日から6月13日までの20日間、費用は、3158万円となっている。

安 ドックは何年ごとで、乗船人員、燃費はどれ程なのか。

商工交通課長 ドックは毎年である。乗員は、船長2人、船員4人の6名である。燃費は、天候にもよるが、一万リットルから二万リットルぐらいと思われる。

安 「費用対効果」という言葉がある。確かに今の古仁屋のドックでは、フェリーかけろま一号船、最初のフェリーはドック入りできしたが、二号船、現在のフェリーは構造上、造船場の改修をしなければ出来ないとのことである。トンの数には、二百トンまで可能で、今のフェリーは(一九八トン)でも問題ないが、ケイソン製作用の「フローチング」なるものを設置したら、現在のフェリーでもドック可能とのことである。又、現在の従業員では、無理かもしれないが、毎年ドック

入りできる設備が完備すれば必然と従業員も増えてくるだろう。往復の燃費、6名の船員の二十日間の宿泊代、毎年三千万余りも回避される。

この町にとっても、長い目で見た時大きな経済効果が期待出来ると思われる。加計呂麻という島がある限り、フェリーかけろまも永遠のものである。そういう話が来た時には、聞かれてはいいが、**商工交通課長** 先方から、そういう話が来たときは聞いてみたいと思う。

人事異動

泰山議員 — 定期的な人事異動による行政サービスの向上は？

教育長 — 町民に対するサービスは相対的に向上

泰山 定期的に行われる人事異動により、町民に対しての行政サービスが向上しているか当局の見解をお尋ねしたい。

町長 人事異動を実施することにより、町民に対しての行政サービスは、相対的に向上しているものと考えている。

泰山 人事異動をすることによって、お願いしていた事が、担当者が変わり白紙になってしまったというケースがあると、各方面から時折お話を聞くが、そのような声などは入っているのか、お聞きしたい。

総務課長 人事異動は、組織の活性化を図るうえで、また職員個人の成長を促すうえで非常に重要な部分である。今、議員が仰られた異動したせいで白紙になったということは

聞いている。人事異動が決して悪いという話をしたい訳ではなく、引継ぎがしっかりとなされているのか。上司や管理職の方も一緒に引継ぎの中に入っているのか、お聞きしたい。

聞いてない。

泰山 分かりました。直接なかなかな言えな

なかった話なのかもしれないが、私の方には何度かそのような話があった。

総務課長 人事異動があれば必ず引継ぎをする。引継ぎの際は必ず上司が入っている。上司も入ったうえで、引継ぎを紙ベースで行っている。

人事異動が決して悪いという話をしたい訳ではなく、引継ぎがしっかりとなされているのか。上司や管理職の方も一緒に引継ぎの中に入っているのか、お聞きしたい。



泰山 祐一 議員

町有地の無人島利用

泰山 町有地である無人島の俵小島や油井小島にて、民間主導で宿泊事業などが行えるよう指定管理者制度の導入をしていく意向があるかお尋ねしたい。

町長 現在のところ民間主導で指定管理者制度の導入について考えていない。

泰山 結論としては、土地を使うことはできないということか。
水産観光課長 使うことはできないという訳ではないが、認可等のハードルが高い現状で

る。

泰山 そうでしたら、瀬戸内町が掲げている「チャレンジしていこう」というような基本理念もあるので、出来る範囲の中からどういう可能性があるのかを語らいつながら、希望を語るような話し合いができると思う。この話をして難しいのか。

水産観光課長 今後あらゆることを想定しながら関係機関と協議をしていきたいと考えている。

海洋の町「せとうち」みらいプロジェクト

泰山 海を綺麗にするのは山や陸という話もさせて頂いた。脱炭素の取組みとして、有機農業を推進していく意向があるかお尋ねしたい。

農林課長 現在、有機農業者が4名いる。推進ではないが、情報発

信をしていきたいと観光協会等関係団体と協議し、困窮事業者の

泰山 陸の方から綺麗な水を海に流しているイメージが美しい海に繋がりブランド化に繋がると思う。町だけで考えるのではなく、既に奄美大島で実践されている方と共有し合いながら進めていただければと思う。

新型コロナウイルス 支援
町長 町の独自の支援策としては、各集落の財源不足の要因となつている防犯灯の年間電料の4分の1を補助する制度を導入する予定としてお尋ねしたい。

泰山 飲食店事業者以外に困窮している事業者に対して、町独自の支援を行う意向があるか、お尋ねしたい。

町長 現在、国において新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対して「事業から太陽光防犯灯への復活支援金」制度の支援事業が実施されてお施していきたい。また今後新たな国の支援制度設置の動きもあるので、本町としては、瀬戸内町商工会、

信愛幼稚園

福田議員 — 町営となる「ひかり幼稚園」の進捗状況は？

町長 — プロジェクトチームチームを中心に円滑な移管を

福田 令和5年度より町営となる「ひかり幼稚園」の進捗状況についてお尋ねしたい。
教育長 令和5年度に、私立の信愛幼稚園が公立移管され、新たに開園する町立「ひかり幼稚園」については、円滑な移管に向けて、昨年6月に「信愛幼稚園公立移管円滑化推進委員会」を立ち上げ、その中に設置されたプロジェクトチームを中心に組織、体制のあり方や事業運営移管事務等について協議を進めているところである。
 宗教色は取り除いたうえで、園児の育ちや教員への影響を考慮し、現在のクラス編成や教員の継続雇用等、これまでのかたちをできるだけ維持しながら移管できるよう取り組んでいる。令和4年度については、事務担当職員の配置や給食、預



福田 鶴代 議員

かり保育事業等の実施に向けた施設改修及びインターネット環境整備のほか、設置にかかるとの届出事務を進めていきたい。
高丘保育所

福田 高丘保育所の建て替えの目安はいつ頃になるか、お尋ねしたい。
町長 「子育て支援拠点施設」としての高丘保育所の整備については、現在、用地取得に向けて交渉中であるが、着工時期としては現榎家で未定であり、用地が確保できる目処がたった段階で、具体的な整備を検討している。
町長 認定こども園の建設については、「認定こども園等建設に関するワーキング報告書」にて、アンケートの結果、保護者の利用希望施設として、認定こども園への希望が少ない数値となったことから、認定こども園としての建設ではなく、既存の施設の機能強化を想定した「子育て支援拠点施設」の整備を検討している。
福田 せとうち創生マニフェストに掲げている「こども園」の進捗についてお尋ねしたい。



信 愛 幼 稚 園

福田 男女共同参画の取り組みのワーク・ライフ・バランスでの取り組み推進として、超過勤務縮小の為の課内調整についてどのような事をされているかお尋ねしたい。
町長 働き方改革等により、超過勤務の上限を令和元年9月より、

討する、との報告がされている。

男女共同参画

月45時間に設定し、該当する職員がいる課局においては、毎月要因分析等を行い、超過勤務削減に向け取り組んでいる。
 事務及び事業のスクラップや課内における業務協力体制による事務の平準化図っている。

地域医療連携推進法人アンマ

福田 地域医療連携推進法人アンマについてお尋ねしたい。
町長 令和3年度までの実績は、チームせとうち・我が事、丸ごと、支え愛事業（島の保健室事業の委託契約や鹿児島市にある三愛会との包括連携協定の幹旋、妊婦健診実施のための関係医療機関との調整や電子カルテ共同導入などである。

令和4年度の事業計画については、法人の第5期事業計画の精査を行い実施したいと考えている。

水対策

元井議員 — 最近水が不足しているが、その対策は？

町長 — 一時的な貯水量の低下で、現在は十分な量を確保

元井 最近水が不足している状況であるが、その対策はどうしているか。

町長 年末には一時的に貯水量の低下はあったが、現在は十分な貯水量を確保できている。

元井 阿木名川の水対策は十分されているか。

町長 現在取水をしている阿木名川の取水堰について、令和4年度事業において改良工事を予定しており、更に安定した取水量を確保できるように努めていきたい。

林業振興

元井 木材利用の必要性がいわれているが、島で出来るか。

町長 本町において、温暖化防止対策の一環として奄美産材を利用した公共施設の木質

化及び集落看板等の設置、小中学校で奄美産材を利用した木工体験や木工教室を開催し、

木材利用の促進を図っている。

元井 特用林産物についてはどのような事が考えられるか。

町長 特用林産物は森で採れる多彩な産物のうち、木材を除くほぼすべてのものが「特用林産物」に含まれる。本町において、間伐材を活用したシイタケ類等の栽培に取り組んでおり、遊休地を利用した枝物栽培など、持続可能な産業の確立を図り、特色ある産地づくりを推進してまいりたい。



元井 直志 議員

信愛幼稚園の活用

元井 譲渡条件があると思われるが、その内容はどうか？

教育長 信愛幼稚園の譲渡については、昨年5月に学校法人奄美信愛学園より、「古仁屋信愛幼稚園の町への移管要請書」が町へ提出され、その中で令和5年4月1日を移管時期として土地・施設及び設備品を無償譲渡したい旨の申し入れがあり、譲渡にあたっては、園児相互の育ちや教員への影響を考慮し、クラス編成のあり

方や教員の雇用について現在のかたちを継続していただきたいとの要望があったところである。現在、昨年6月に設置された「信愛幼稚園公立移管円滑化推進委員会」の中で協議を進めながら、宗教色を取り除いたうえで、これまでのかたちをできるかぎり継続しながら円滑に移管できるように取り組んでいるところである。

元井 人口減少の中、新たな町財政の負担についてはどうか。

町長 信愛幼稚園の公立化に伴う新たな町財政の負担については、ひかり幼稚園に係る人件費等の幼稚園経費が発生してくる。しかしながら、普通交付税の算定において、幼稚園経費相当が見込まれるため、結果として財政的な影響は無いものと考えている。

古仁屋高校の現状

元井 生徒数が減っているが、どうなのか？

町長 今年度は県下の公立高校が一部の高校を除き全般的に激減しており、古仁屋高校も同様な現象となっている。

元井 あらゆる点で継続の危機と思われるが、どのように考えているか。

町長 古仁屋高校の存続対策として、地域みらい留学生の確保、古仁屋高校寮の男子寮の改修及び女子寮新築、プログラミング教室の導入、古仁屋高校コーディネーターの配置等、諸活性化策を実施してきたが、入学者数は年々減少傾向にあり、さらなる活性化策を講じる必要があると思う。

伝統芸能の保存

元井 子ども島口大会等が保全対策としているが、子どもだけでなく大人、若者に伝えていくことも大切だと考えるがどうか。

町長 本大会は、現在失われつつある島口・伝統芸能の普及と島口を使えなくなった子ども達に使う機会を設けるとともに、地域の人々との触れ合いの中でシマの文化や伝統を学び郷土への関心や誇りを持つ心を育てることを目的に開催し、第16回を重ねており、回を重ねる毎に内容は充実してきている。

郷土教育については、公民館講座での郷土芸能関係の講座の開設や昔から伝わる教訓・格言の普及にも取り組んでいるところである。

総務経済常任委員会の令和3年度の活動報告

令和3年度の総務経済常任委員会の活動については

1. 加計呂麻島ターミナル建設等に関する調査
2. 奄美せとうち地域公社に関する調査（キビ酢村構想・ふるさと納税等）の2つでした。

1. 加計呂麻島ターミナル建設等に関する調査については、5回の委員会を行い、関係課に下記の調査を行いました。

- ① 工事時の駐車場の確保について
- ② 作業時の車の強制移動について
- ③ 住民への意見聴取について
- ④ 行政サービスはどのようなのか
- ⑤ 住民サービスで郵便局は入るのか
- ⑥ パブリックコメントの意見は反映されるのか
- ⑦ 駐車場はどのようなのか
- ⑧ 荷置き場とは
- ⑨ 駐車場は有料か、また管理はどのようなのか



上記内容で、調査の結果としましては、

- ① 「工事時の駐車場の確保について」は、駐車場ではないが、既存の建物を壊して活用したい。
- ② 「作業時の車の強制移動について」は、工事をする前に告知したい。
- ③ 「住民への意見聴取」については、商工会のアンケートを実施、参考にしたい。
- ④ 「行政サービスはどのようなのか」は、多岐にわたる為、取りまとめている段階である。
- ⑤ 「住民サービスで郵便局は入るのか」については、役場窓口が行っている各種証明、税等の納付業務を想定している。
- ⑥ 「パブリックコメントの意見は反映されるか」については、相手方もあるので具体的には言えない。
- ⑦ 「駐車場はどのようなのか」については、既存の施設を取り壊し駐車場とする。公用車専用の土地の確保を計画している。
- ⑧ 「荷置き場とは」については、現在野ざらしの荷置き場があるので、施設内の塀のある場所を荷置き場として確保した。
- ⑨ 「駐車場は有料か、また管理はどのようなのか」については、無料であるが、港湾施設なので、駐車場としての位置づけは出来ない。白線を引かずに現状と同じ管理となる予定であるとの事でした。まだ、調査中の事項となっております。

2. 奄美せとうち地域公社に関する調査については、これからです。

文教厚生常任委員会の令和3年度の活動報告

令和3年度の文教厚生常任委員会の活動としては、

1. 「瀬戸内町中学校の部活動合同チームに関する請願書」の付託
2. 古仁屋小学校・中学校への学校訪問
(タブレットを使った授業参観と学校管理職と教育委員会との意見交換)
3. 所管事務調査「子育て環境に関する調査」の3つでした。



1. 「瀬戸内町中学校の部活動合同チームに関する請願書」については、請願者より、「①瀬戸内町から報酬を出す学校職員でも部活動の顧問となれる制度改正を行っていただきたい。⇒継続的な部活動編成につながります」・「②3校以上の合同チーム編成ができるよう鹿児島県中体連に働きかけていただきたい」との2つの改善案が提出されましたが、4回の委員会や教育委員会総務課長・学校教育係長への聞き取り調査等で、当該地方公共団体の権限に属さない事項と判断されることや、すでに編成基準により可能となっていることを考慮し不採択としましたが、部活動の顧問対策については、教育委員会でも進めようとしている部活動指導員（外部指導者）の制度を整備し、今後の瀬戸内町中学校部活動における対策を講じていただきたいとの要望をしました。

2. 古仁屋小学校・中学校への学校訪問については、授業風景を見学し、その後、校長先生や教育長・教育委員会担当者とタブレットを使った授業のメリットや今後の課題についての意見交換を行いました。

3. 所管事務調査「子育て環境に関する調査」については、令和3年度におきまして、17回の委員会を行いました。内容としては、町内の保育所・幼稚園への訪問を予定しておりましたが、コロナ禍の為、実施できませんでした。その後、町内の保育所・幼稚園とその保護者に対してのアンケート調査を実施し、それを基に役場関係課局担当者と意見交換しました。内容については、令和3年11月発行の議会だよりに掲載しております。

また奄美市役所と龍郷町役場に訪問し、子育て支援に関する意見交換を行いました。

編集後記

ここのとこころコロナの感染も多いし、ウクライナのニュースも大変だし、この世の中一体どうなっているのか？ 厳しい世界大戦を二度も経験し戦争はよくないと思っている筈なのに又？ 一体人類は何を考えているのだ。反省もし教訓も身に付けている筈なのに生かされていない現実。これはきつと愛国心の成せる事に違いない。愛国心は大切に大事な事ではある。只、愛国心の行き過ぎ、間違った愛国心が戦争を引き起こしているのだと思う。世界の平和、人類皆兄弟ということは今一度考えてみよう。人類が認識せねばならない。愛国心の行き過ぎは危険だということ。皆で助け合って生きて行く

うと思わねばならない。でなければ人類は滅亡に向かって突き進んでいるとしか思えない。自分の国を守るように他の国も守れ！武力を使うな。言葉で戦え。自分の国だけ良くなっても世界は良くならない。人類の目標は「世界平和」でなければならぬ

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会報編集委員会
長	員	員	員	員	永井	元井	
順	向野	池田	柳谷	福田	しずの	直志	
一	忍	啓一	昌臣	鶴代			